

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもデイサービス にじのとびら		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和8年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日		～ 令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月1日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小学生、中学生、高校生と年上児童が多く、お手本にできる場面やわからないことを聞きやすい環境です	常に職員が仲介するだけでなく、自分で挑戦できる状況、場面を作っています	体育館や外出行事、イベントとさらに活動の幅を広げていきたい
2	外出行事などを通して利用児童の「やりたい」を実現しやすい事	行事や好きなおやつアンケートを実施することにより、自分の気持ちや要望を伝え、実現しやすい工夫をしています	社会科見学や交通機関の利用を通して、今後のスキルアップに繋げていきたいです
3	Instagramや通信、報告書を使って、保護者にもにじのとびらでの過ごし方を想像しやすい事	送迎時の引継ぎだけでなく、それぞれの保護者が見やすい媒体（Instagram、面談、報告書など）を使用しています	保護者行事も計画にたて、保護者交流の場も設けます

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在、未就学児の人数が少なく、同世代との関わりは少ない	年上児童が多い為、参加しにくい日があると考えています	未就学児や低学年が参加できる日や時間を設定して安心して通所しやすい環境を整えます
2	事業所の建物の大きさや部屋数により、個別支援の限度がでてしまう事	建物の構造上の要因がある	利用児童や職員配置、活動内容を工夫をし、安全に考慮して実施していく必要がある
3			